

令和元年度シンポジウム「熊本のSDGs推進に向けて」開催報告

1. 日 時 令和元年 11 月 22 日（金） 13 時 30 分～17 時 30 分
2. 場 所 ホテル日航熊本（シンポジウム：阿蘇 交流会：アソシエッド）
3. 主 催 くまもと技術革新・融合研究会（RIST）、（公財）くまもと産業支援財団
4. 共 催 熊本市
5. 後 援 熊本県、熊本県工業連合会、熊本県情報サービス産業協会、
熊本県産業振興協議会、熊本日日新聞社
6. 参加者 シンポジウム 190 名
（内訳）企業・一般：83 名 教育関係：16 名 行政：81 名 講演者：10 名
交流会 42 名
（内訳）企業・一般：16 名 教育関係：6 名 行政：11 名 講演者：9 名

7. プログラム

■主催者開会挨拶 RIST 会長 熊本大学 特任教授 末吉敏則

■演 目

第 1 部 熊本市の SDGs の取り組みと技術革新への対応

熊本市長 大西 一史 様

第 2 部 将来の SDGs ロードマップについて

1) 温暖化とエネルギーの今後

熊本大学大学院 先端科学研究部 教授 鳥居 修一 様

2) 未来都市熊本の交通システム

熊本学園大学 シニア客員教授 坂本 正 様

第 3 部 先導的な取り組みや研究/ビジネス事例について

1) 人口 75 億！適応しなければ生きられない不都合な現実と未来

—温暖化対策センターの取り組み SDGs 評価—

熊本県地球温暖化防止活動推進センター センター長 田邊 裕正 様

2) ゼロエネルギー住宅（ZEH）実現にむけた地域電力会社の役割

熊本県立大学環境共生学部居住環境学専攻 准教授 田中 昭雄 様

3) 熊本市地域エネルギー事業の今後の展開について

スマートエナジー熊本株式会社 代表取締役 横尾 将 様

4) 合志市の大規模ソーラー事業について

自然電力株式会社 太陽光事業部 部長 佐々木 周 様

5) 電気自動車による SDGs 推進の取り組み（日本電動化アクション）

日産自動車株式会社 日本事業広報渉外部 担当部長 大神 希保 様

6) EV バス技術による SDGs への新たな貢献

熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 松田 俊郎

7) ESG 金融と SDGs の取り組み

株式会社肥後銀行 経営企画部サステナビリティ推進室 副企画役 高田 賢治 様

第4部 SDGs推進に向けたパネルディスカッション

モデレータ 熊本大学大学院先端科学研究部 教授 鳥居 修一 様

パネラー 熊本市環境局 環境推進部 環境政策課

課長 榊田 一郎 様

坂本 正 様、田中 昭雄 様、横尾 将 様、佐々木 周 様

大神 希保 様、高田 賢治 様、松田 俊郎 様

■主催者閉会挨拶

RIST 企画委員長

熊本高等専門学校人間情報システム工学科 教授 村上 純

司 会：熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 松田 俊郎

■交 流 会

2階 アソシエッド 18時00分～20時00分

8. 特記事項

本シンポジウムは、熊本市の「熊本地震の経験と教訓をいかした地域（防災）力の向上事業」が、内閣府が進めるSDGs未来都市/自治体SDGsモデル事業に選定されたことを受け、熊本市をはじめとした県内市町、または全国を舞台にした先導的なSDGsの取り組みについて情報を共有し、熊本のSDGsのさらなる推進に寄与するべく開催された。

第1部では、大西熊本市長に熊本市が提案したSDGs未来都市計画の概要、重点的な取組、SDGsの達成に不可欠な技術革新への対応等についてご説明いただき、第2部ではエネルギーと交通システムの現状と将来展開について、第3部では地球温暖化の緩和策、熊本市の住宅エネルギー需要と用途別ZEH化の効果、熊本市の地域エネルギー事業の今後の展開、合志市の太陽光発電による地域振興、災害時や地域課題の解決に取り組む日産自動車の活動、防災強化や再生可能エネルギーの拡大に資するEVバス技術の実用化に向けた取り組み、地域を支える肥後銀行のサステナビリティ全体構想について、それぞれご紹介いただき、第4部では熊本市環境局 環境推進部 環境政策課 榊田課長他、講師陣8名によるパネルディスカッションを行い、会場から挙げられた質問や疑問について議論、解説を行った。

